

# 市営葬儀 使用料

# 住民税非課税世帯は1万2千円の減額 日本共産党などの議員提案が可決される

市は財政健全化計画として、飯盛霊園などの斎場使用料補助の1万2千円を平成22年4月より廃止しようとしています。市は、そのために言い訳程度に、市営葬儀使用料のB区分以下の料金を1万2千円減額する案を昨年12月議会に提出しました。しかし、12月議会に於いては、都市環境福祉常任委員会では賛成多数で可決されましたが、本会議では「なぜB区分以下だけを減額するのかの理由が不明確である」などの理由により継続審議となっていました。

持ち越されていたこの議案は、3月1日に開会した3月議会初日の審議となりました。日本共産党、市民ががやきクラブ、自民党の3会派は共同で、「すべての区分に於いて、住民税非課税世帯の方には1万2千円の減額を行う」旨の修正案を提出し、可決されました。



## ■交野市市営葬儀使用料

区分	現使用料
特A全部使用	160,000円
特A一部使用	143,000円
A全部使用	100,000円
A一部使用	83,000円
B全部使用	60,000円
B一部使用	43,000円
仏式以外全部使用	60,000円
仏式以外一部使用	43,000円

## ■市営葬儀年度別利用件数

年度	死亡数	件数	特A		A		B		仏式以外	
			全部	一部	全部	一部	全部	一部	全部	一部
17	455	72	29	0	9	0	31	0	3	0
18	505	54	16	0	8	0	28	0	2	0
19	528	44	18	0	5	0	21	0	0	0
20	533	34	6	0	7	0	19	0	1	0

(一部使用は霊柩車なし)



# 弁護士相談

☆日時 3月18日(木)  
午後3時~5時

☆場所 交野市役所 3階  
(日本共産党議員団控室)

☎892-0121(内線301)

順番等がありますので事前にお電話ください。



市は平成22年度予算案を発表されました。

「第2次財政健全化計画」(H22~27年度)の初年度にあたるH22年度は、市民生活に直接関わる事業の削減・補助金の廃止などで、約4500万円が削減されています。

日本共産党は、3月議会で、ゆうゆうバス削減・市外私立幼稚園就園補助の廃止など、福祉・教育切り捨ての撤回を求めていきます。



## 第2次財政健全化計画

# 平成22年度予算案で約4500万円の事業削減

## ■H22年度予算案「第2次財政健全化計画」にともなう事業削減・値上げ額(前年度比)

	削減(値上げ)額(円)	事業内容
ゆうゆうバス	▲ 5,392,000	9月以降、3台から2台に減らし、日・祝日運休(土曜は運行)、1日の便数削減
敬老金	▲ 7,710,000	77・88・99歳1万円、100歳2万円を廃止
ひとり親家庭医療費助成	▲ 2,000,000	市単独補助制度の廃止
生活困窮者への貸付制度	▲ 300,000	生計援助基金の貸付額の引き下げ等
がん検診、市民検診	▲ 2,890,000	70歳以上高齢者の検診を有料化、がん検診・歯科検診の見直し
障がい者の入院時食事補助	▲ 7,000,000	廃止
私立幼稚園就園補助	▲ 1,300,000	市外の私立幼稚園通園児の補助(月1,200円)を廃止
鍼灸補助	▲ 1,370,000	年3回の補助制度の廃止
斎場使用料補助	▲ 5,400,000	上限12,000円の補助廃止
野外活動センター	▲ 3,602,000	休止
し尿くみとり料	5,868,000	値上げ
その他の事業削減	▲ 2,849,000	非常勤特別職の報酬見直し、プール開放運営見直し他
<b>事業削減額+値上げの合計額</b>	<b>45,681,000</b>	